

金沢で自家発電設備の講習会が開催される

令和2年12月2日、一般社団法人日本電気協会北陸支部の主催で「蓄電池、自家用発電設備講習会」が石川県地場産業振興センター（金沢市）で開催されました。講習会は近隣の電気設備技術者（工場、電気工事等）を対象に開催されたもので、災害時対応等の電源確保に関する知識を深めて頂くことを目的とし、約80名が参加されました。当日は新型コロナウイルス感染防止対策として受付での検温と手指消毒に加え、会場内ではマスク着用、三密回避、ドア開放等の対策が実施されました。

講習会は、日本電気協会北陸支部の佐野事務局次長の司会により進行し、最初に高月事務局長による開会挨拶の後、講義が開始されました。

講義は、始めに「蓄電池システムについて」と題して、一般社団法人日本電機工業会の小川課長による蓄電池システムの説明、事故・被災時における蓄電池システムの稼働状況、システムの設置、取り扱いに関する留意事項等について約1時間の講義が行われました。

続いて、内発協の新井武・技術部長が「災害時における自家発電設備の稼働状況とその計画、保守管理上の留意点」と題して、非常用自家発電設備の「適用法令」や「設備構成と機能」について解説した後、「災害時の自家発電設備の稼働状況」を踏まえた「計画・運転時の留意事項」や「点検及び保守」に関する内容について、内発協が独自に作成したパワーポイントを用いて約2時間にわたって講義を行いました。講義の最後には、内発協が制作・販売している

「〈平成30年6月1日施行〉消防法令に基づく自家発電設備の点検方法の改正（内部観察等及び予防的な保全策）」について解説したDVDダイジェスト版を5分間視聴して頂きました。

講義の終了後、熱心な質疑応答も行われ、講習会は盛況なうちに閉会しました。

今後とも内発協では、防災用自家発電設備に関する総務省消防庁の登録認定機関として、また自家発電設備の専門技術者を養成する機関として、関係機関等からの要望を受けた場合、自家発電設備に関する研修会等への講師の派遣を積極的に行っていくこととしています。

